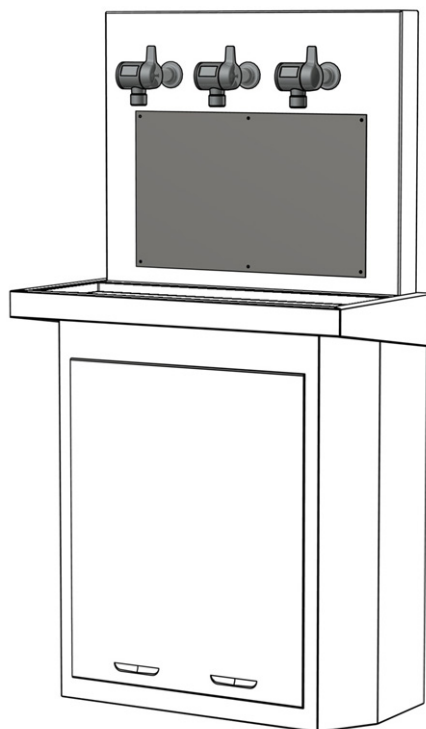


取扱説明書

OP-3 オイルサービスセット

MODEL NO.880167 OP-3(P 付)

880162 OP-3(P ナシ)



880167 OP-3

⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を良く熟読し、記載されている重要警告事項を良く理解して下さい。また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管して下さい。

YAMADA CORPORATION

はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願して、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。

この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。

特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。

尚、ご使用中に不明な点、不具合などがありましたら、お買上げの販売店、又は、裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

★ 取扱説明書、注意ラベル等を汚損、紛失した場合には、速やかにお買上げの販売会社からご購入いただき保管・貼付してください。

目 次

はじめに.....	1
目次	1
1. 使用目的.....	2
2. 警告・注意事項.....	2
3. 使用上の注意事項.....	2
4. 各部の名称.....	3
4-1 梱包内容	3
5. 設置	3
6. 使用方法.....	4
7. 保守・点検.....	5
7-1 故障の点検とその対策.....	5
7-2 オイルコックの分解.....	5
7-3 OP型オイルサービスクャビネット構成表.....	6
8. スペック	6
9. 保証規定.....	背表紙

1. 使用目的

本機は、水道の蛇口をひねるといつでも水が使えるように、3種類のオイルをオイルコックの操作だけで簡単に使うことができます。オイルは、油倉庫に格納されたドラム缶から、直接、エアポンプによって配管内キャビネットまで圧送され、キャビネットのオイルコックのオイルを軽く操作するだけで、希望のオイルを必要なだけ取り出すことができます。

2. 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告および注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。



警告： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることを表わしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ずしたがっていただく内容であることを表わしています。表示の脇には具体的な指示内用が示されています。

NOTE： 作業の効率化及び機器の保全がはかれる場合に記載しております。

3. 使用上の注意事項

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告



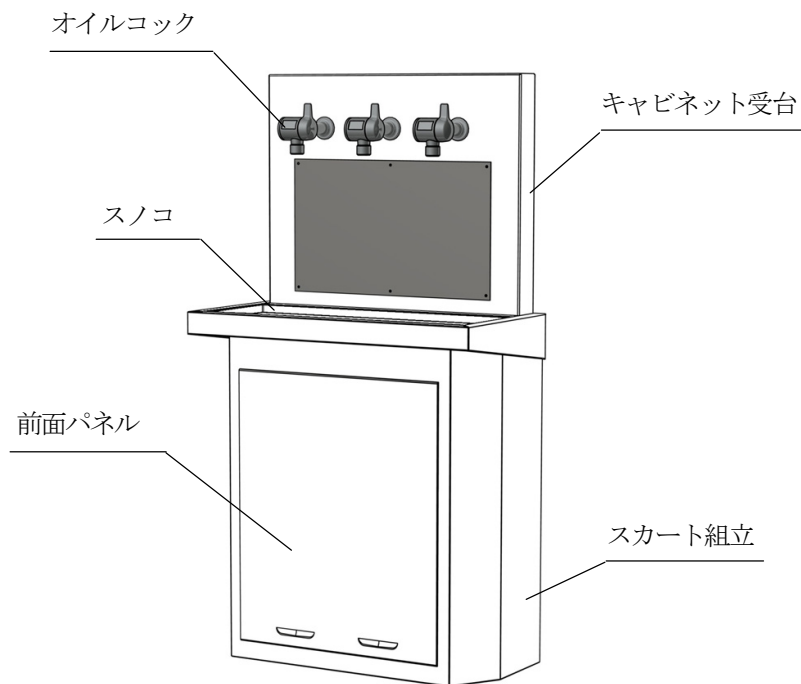
- ・使用するオイルの種類によって、発ガン物質が含まれているものもあります。オイルメーカーの取扱注意事項を熟読し、注意して取り扱ってください。
- ・ガソリンは高揮発性の燃料です。機器の洗浄などには絶対に使用しないでください。

注意



- ・作業終了後及び夜間・休日には、必ず本機への供給減を止めて配管・ホース内の圧力を抜いてください。供給源を止めずホースに圧力がかかったまま、パッキン・ホース類も消耗により材料が漏れ施設を汚染させるなどの二次災害については使用者側の責任になります。
- ・本機を改造することは絶対に行わないでください。
改造しますと機体変化を起こすだけでなく、人身事故や故障を生じる恐れがあります。
- ・ポンプへの供給エア圧力は、0.7MPa 以下で使用してください。
これ以上の圧力での使用は、ポンプ・配管・ホース等の破損の原因となります。必ず、エアレギュレータを別途購入して、0.7MPa 以下に調整してご使用してください。

4. 各部の名称



4-1 梱包内容

本機は、木箱に梱包されています。

上部を開梱し、外観上のキズ・破損等が無いか各部を点検してください。

附属品が間違いなく揃っているか、確認してください。

5. 設 置

⚠ 注意

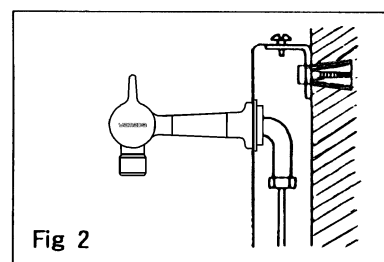
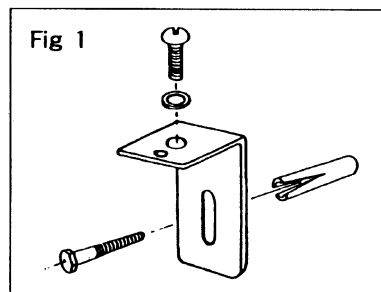


・オイルサービスセットを設置する場合は、屋内の作業の最も便利な場所を選定してください。
特に、雨・風・塵芥などを蒙らない所を選んでください。

- 1) 本機の取り付けは、土台、又はエキスパンションボルトによって直接壁面に取り付けてください。
- 2) 据付工事の際は、安全な給油作業が行えるよう必ずキャビネットをアース（接地）してください。

エキスパンションボルトの取付方法

- 1) 現物合せの上、指定位置に $\phi 7 \sim \phi 7.5$ 深さ 50mm の穴をドリルであけてください。
- 2) エキスパンションボルト ($\phi 8 \times 45\text{mm}$) を穴に埋め込んでください。(Fig.1)
- 3) パネルよりホルダーを取り出し、コーチスクリューでがっちり固定してからパネルをビスで取り付けてください。(Fig.2)



6. 使用方法

注意



- コックを開いた状態で油の吐出具合があまり強いと跳ね返って周囲を汚染させます。油が跳ね返らないようにエアレギュレータで調整し、最適な使用圧力でお使いください。
- オイルコックは汚れ易いので、常に清掃に心がけてください。
- 作業終了後及び夜間・休日には、必ず本機への供給源を止めて配管・ホース内の圧力を抜いてください。供給源を止めずホースに圧力がかかったままの状態ではパッキン・ホース類の磨耗により材料が漏れ、施設を汚染させるなどの二次災害については使用者の責任になります。

- 1) 各ポンプにエアを供給してください。
(供給エア圧は、0.2～0.7MPa が適当です。)
- 2) オイルジョッキ又は容器をキャビネット受台に置き、オイルコックの取手を手前に回転させますとコックのバルブが開いてオイルが吐出されます。
(Fig.3)
- 3) 連続して流量を得たい場合は、取手を手前に廻した状態にしておきますとバルブは開放状態になります。**(Fig.4)**
- 4) オイルキャビネット下部のスカートは、前面パネルが簡単に取り外しができますので、内部に石油缶・オイルジョッキ・ウエス等を収納することができます。

Fig.3

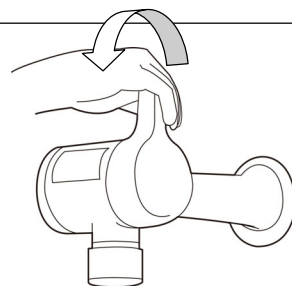
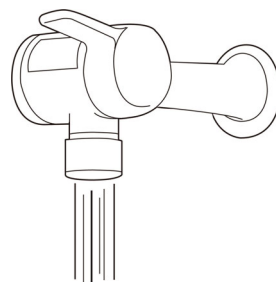


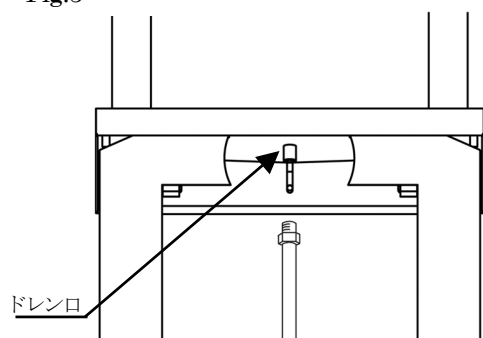
Fig.4



NOTE

こぼれたオイルはオイルパンに受けられる構造となっています。
定期的にドレンプラグを緩めてオイルを抜いてください。
尚、こぼれたオイルを自動的に容器へ溜めたいときは、ドレン抜きから配管又は、ホース等を接続してください。**(Fig.5)**

Fig.5



7. 保守・点検

7-1 故障の点検とその対策

状 況	点 検 項 目	対 策
ポンプが作動しているのに オイルが出ない場合	ドラム缶内のオイルが空になっていないか	点検・オイル補充をする
	ポンプのフートバルブ部分にゴミ等が詰まっているか	ポンプのサクション部を分解・清掃する
	オイルコックの濾アミ部にゴミ等が詰まっているか	濾網ケースをはずして清掃する
	フィルター組立の濾アミ部にゴミ等が詰まっているか	ホースよりフィルター組立を外し、分解し、フィルターを清掃する
ポンプが作動しない場合	[エアがポンプまできている] ・減圧弁の不良等で供給エア圧が不足している ・ポンプ排気口よりエアが漏れる	減圧弁を点検・交換する ポンプの切換部不良
	[エアがポンプまできていない] ・コンプレッサーは正常か ・エア配管、フィルター部等の目詰まり	点検・修理する 点検・修理する



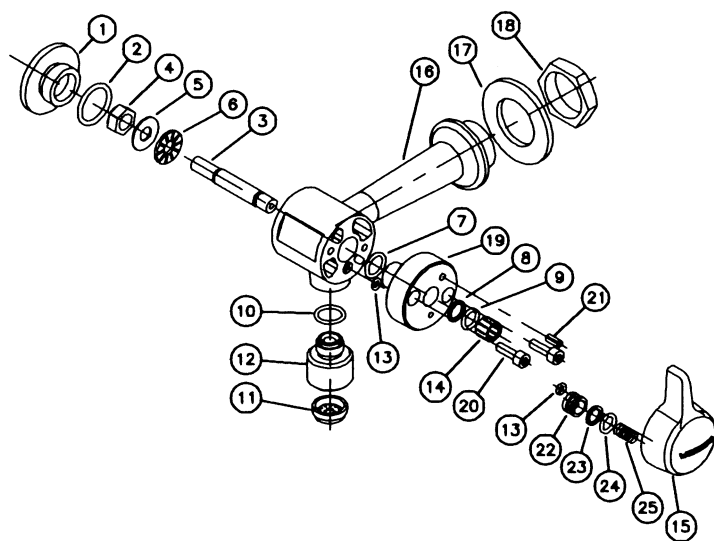
注意



- ・機器の分解・点検を行う場合は、必ずポンプの供給エアを止めオイルコックを開いて配管内の圧力を開放にしてから行ってください。
- ・分解点検は必要最小限にとどめてください。ポンプの修理については弊社営業所又は販売店にサービスを依頼してください。

7-2 オイルコックの分解（オイルコック部品分解図参照）

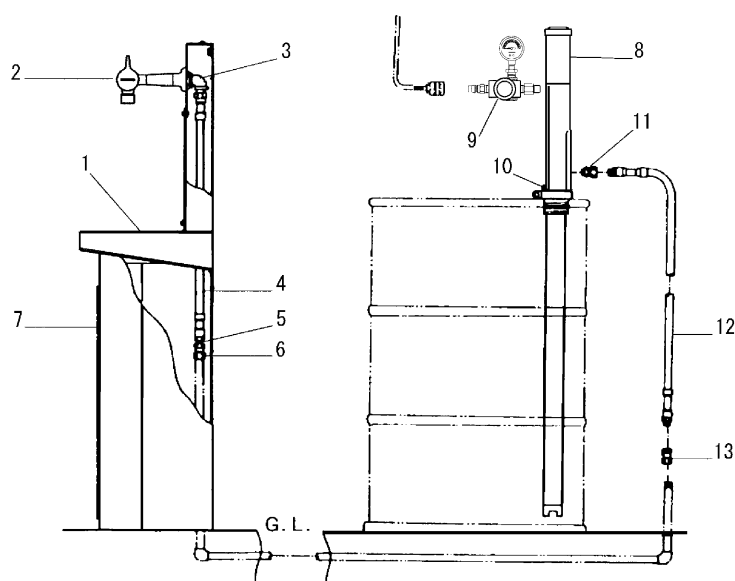
■オイルコック 部品分解図



■ SV-100 (804469) パーツリスト

No.	部品番号	部品名称	員数
1	715355	キャップ	1
2	640130	Oリング	1
3	715356	バルブ軸	1
4	685126	緩ミ止メナット	1
5	685685	座金	1
6	685686	ベアリング	1
7	640013	Oリング	1
8	643669	バックアップリング	1
9	640009	Oリング	1
10	640015	Oリング	1
11	770303	濾網	1
12	715357	濾網ケース	1
13	640002	Oリング	2
14	685687	ベアリング	1
15	715352	ノブ	1
16	715351	バルブケース	1
17	702959	座金	1
18	702960	ナット	1
19	715358	バルブ本体	1
20	619100	六角穴付ボルト	2
21	632813	スプリングピン	1
22	715359	スライドバルブ	1
23	643668	バックアップリング	1
24	640008	Oリング	1
25	685688	スプリング	1

7-3. OP 型オイルサービスキヤビネット構成表



No	部品番号	部品名称	員数
			OP-3
1	800619	3 連キャビネット組立	1
2	804469	SV-100 オイルコック	3
3	634033	ストリートエルボ	3
4	695061	耐油ホース (0.7m)	3
5	680206	ユニオンアダプタ	3
6	804549	フィルター組立	3
7	800593	スカート組立	1
8	852628	ドラムポンプ組立	3
9	801241	エアレギュレータ	3
10	803488	バングアダプタ	3
11	680285	ユニオンアダプタ	3
12	695088	耐油ホース (2m)	3
13	680206	ユニオンアダプタ	3

- ・No.1～No.7, No.9 で 880162 (OP-3 オイルキャビネット) になります。
- ・No.3,4,5,6, はアッセンブリーで 800590 (ホース組立) になります。
- ・No.11,12,13, はアッセンブリーで 800864 (ホース組立) になります。

8. スペック

仕 様

形 式	寸法 (mm) 全高 全幅 奥行	質量 (kg)	主 な 付 属 品
880167 OP-3 (P 付)	1295×700×356	34.4	852628 ドラムポンプ 3 800864 耐油ホース 3 801241 圧力計付減圧弁 3
880162 OP-3 (P なし)	1295×700×356	34.4	800864 耐油ホース 3 801241 圧力計付減圧弁 3

注：質量はキャビネットホンタイのみの値です。

(参考) ドラムポンプの性能

ポンプ	ポンプレシオ	吐出量※	エア消費量※	全高	質量
852628 DR-50A1	1×1	52 L/min	460 L/min (ANR)	1270 mm	5.0 kg

※印は、下記の条件により、ポンプ吐出口での値

使用エア圧	使用オイル	油温
0.7 MPa	ビトリアオイル#32	20℃

お 願 い

この度は、弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
弊社では、お納めした製品のアフターサービス徹底のため「ご愛用者登録」による保証制度を採用しております。お手数をおかけいたしますが、添付の「製品保証登録 FAX シート」に必要事項をご記入の上、弊社宛にご送信ください。弊社にて受信後、下記記載の保証を履行させていただきます。
尚、ご送信がない場合には、保証期間中でも保証の対象となりませんので必ずご送信ください。
又、本制度は日本国内においてのみ有効です。

9.保証規定

- 保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12ヶ月間といたします。
- 保証内容：保証期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
- 適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
 - 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
 - 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
 - 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用して生じた故障。
 - 弊社、又は弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
 - 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
 - パッキン、O-リング、ボール、バルブシートなどの消耗品の磨耗。
 - お買上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
 - 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
 - 定格値を超える電源にて使用された事により発生した故障及び損傷。
 - 過度に磨耗性を有する材料や、本機に不適當な油脂を使用された場合の故障。
 - 日本国外においてご使用の場合。
尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記商品については、保証の適用から除外させていただきます。
・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類
- 補修用部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。
製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

型 式	
製 造 番 号	

ご 購 入 年 月 日	
ご購入の販売店	



安全に関するご注意 / ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、性能・寸法など改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお問い合わせください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1丁目1番3号	TEL (03) 3777-4101 (代)	FAX (03) 3777-3328
札幌営業所	〒062-0002 札幌市豊平区美園二条 6丁目3番16号	TEL (011) 821-0630 (代)	FAX (011) 821-0949
仙台営業所	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町 2丁目2番44号	TEL (022) 232-4743 (代)	FAX (022) 232-4756
東京営業所	〒143-0025 東京都大田区南馬込 1丁目1番3号	TEL (03) 3777-3171 (代)	FAX (03) 3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7番38号	TEL (052) 795-0222 (代)	FAX (052) 795-0444
大阪営業所	〒537-0025 大阪市東成区中道 3丁目15番2号	TEL (06) 6971-5301 (代)	FAX (06) 6974-0497
広島営業所	〒733-0833 広島市西区商工センター5丁目3番5号	TEL (082) 278-5341 (代)	FAX (082) 278-5310
福岡営業所	〒816-0088 福岡市博多区板付 5丁目18番14号	TEL (092) 581-5477 (代)	FAX (092) 581-6524
相模原工場	〒229-1112 神奈川県相模原市宮下 1丁目2番38号		

YAMADA AMERICA Inc. 1200 Nuclear Drive West Chicago, Illinois 60185, U.S.A.
YAMADA EUROPE B.V. Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands

TEL 1-630-231-4083
TEL 31-0-74-242-2032

200610 OSA029U



☆本製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。